

# 事故防止のポイント

## 1 気象情報の 入手



出航前には必ず琵琶湖の気象情報を収集し、天候の変化に気を配り、荒れてきそうな時には早めに寄港しましょう。

琵琶湖は湖なので、穏やかと思われがちですが、「比良おろし」などの強風が周囲の陸上で吹く風よりも強く吹くことがあるので注意してください。早朝からの出航は控え、日没までに寄港するようにしましょう。

## 2 整備点検 の敢行



航行中、運航不能に陥らないよう、出航前に燃料油タンクの残量の確認や船体・機関・装備の点検を確実に行いましょう。

防水ケースに入れた携帯電話を所持する等、万が一の際の連絡手段を確保してください。

家族等に行く先や行動を伝えておくことも大切です。

## 3 救命胴衣 の着用



乗船者全員のライフジャケット着用が義務化されています。（滋賀県琵琶湖等水上安全条例）

手漕ぎボートやカヤック、カヌー、ヨットに乗る人もライフジャケットが必要です。酒酔い操船は禁止です。

## 4 冬季 の判断



冬季は琵琶湖の水温が10℃を下回ります。落水すると非常に危険なので、より慎重な出船判断が必要です。

冬季の落水時にはライフジャケットを着用していても体温が奪われて命の危険があります。冬季は強風が吹くことが多いので、入念に気象情報を収集し、より慎重な出船判断を心掛けましょう。

## 5 フラッグ の利用



カヤック、カヌー、ミニボートを利用する際にはセーフティフラッグを使用しましょう。

カヤック等は高さが低く、小さなうねりや波で周りから全く見えなくなってしまうので、帽子・服装の色を目立つものにし、必ずセーフティフラッグを装備しましょう。

多船からの視認性をある程度、向上させることができます。